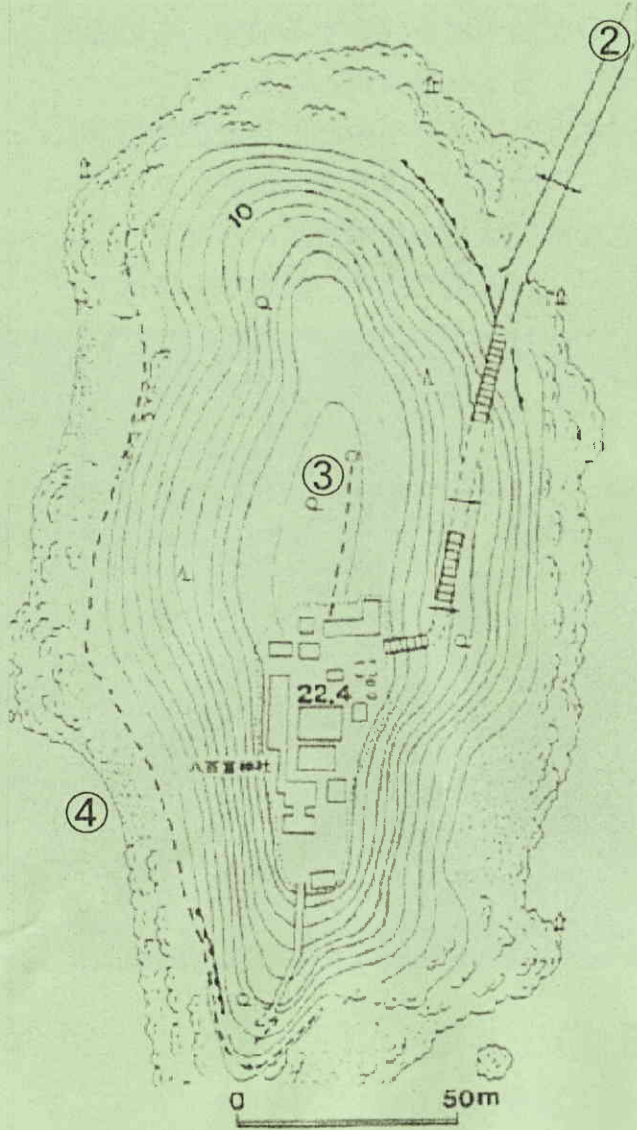


観察ポイント、スケジュール



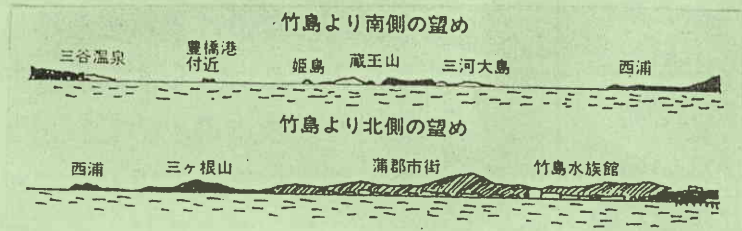
開会
(海辺の文学記念館前)

- ①三河湾の遠景
- ②竹島周辺の環境
- ③照葉樹林
- ④磯の生き物

解散

竹島の自然を楽しみましょう

— 磯の生き物と島の樹林 —



平成22年8月22日
 主催:東三河自然観察会
 後援:蒲郡市教育委員会

海辺ってどんな所？

海辺、陸と海との境目あたりです。

海辺には、砂や砂利などでできている砂浜と、岩のごつごつした磯とがあります。そして、この砂浜と磯は長さの違いはありますが互い違いにつながっています。

さて、海辺で私たちが生き物を観察しようとするすると潮の様子が大変大切になります。つまり、みんなもよく知っているように海は満ち潮と引き潮があります。満ち潮で潮が満ちていると少ししか観察できません。やはり、海辺で遊ぶには引き潮に限ります。この、満ち潮と引き潮で海の底に丸んだり現われたりするところを潮間帯といって面白い生き物の多く見られるところです。さて、今日はどんな生き物が何種類くらい見つかるでしょうか？

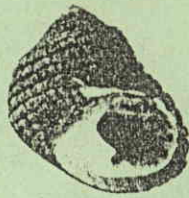
貝あれこれ

ぼくは貝な

のに水が大っ
嫌い。だから、



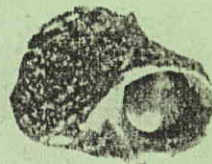
ぼくはふだんは水の来ない海岸の岩場の上のほうに着いています。でも、まるっきり水がないのも困ります。なぜなら、息もできなくなるし、えさも食べられなくなるからです。だから、波飛沫のかかる所が大すぎです。こんなぼくは『タマキビ』といいます。



イシダタミ



イボニシ



スガイ

ぼくたちは磯で普通に見られる巻貝です。でも、見つかる場所は少しずつ違ってきますよ。さあどんなふうが違うのでしょうか。

イシダタミは上の方、スガイは潮が引いてやっと水がなくなったあたり。イボニシはその中間。

さあ、ぼくたちを探して見て下さい。すぐに見つかりますよ。ところで、ぼくたちのうちイボニシだけが肉食です。

何が見つかったかな？

竹島の植物

竹島の森はトトロの森

竹島を対岸から見ると一つの森

そこは照葉樹と呼ばれる暖かな土地を代表する植物たちの森島のまん中で森をつくっている木々を観察しよう。

タブノキ群落 (タブノキとモチノキを中心にした植物群落)

・大きな木の幹回り何mかな？高さは何mかな？

・大きな木にはどんな木が多いかな？

・中間では？、低木や下草は？



ここは暖かな気候の土地

下草にそれを教えてくれる植物があります。⇒ キノクニスゲ
他にはどんな植物が見られるかな？

竹 島

府相町の海岸から、約400mの沖、波静かな三河湾に浮かぶ島が竹島です。周囲約680m、面積約1.9haです。海岸から島を結ぶ橋は、昭和7(1932)年、名古屋の篤志家が寄付してできたといわれています。50有余年、蒲郡の観光シンボルとして多くの人に親しまれ愛されてきました。現在の橋は、昭和61(1986)年2月、新竹島橋として架け替えられたものです。長さ387m、幅4.3mといわれています。

この島に八百富神社があります。祭神は市杵島姫命で、安徳天皇の養和元(1181)年3月、藤原俊成が琵琶湖の竹生島より勧請し創立されたとされています。竹島弁天ともいわれ、日本七弁天の一つになっています。それが享保20(1735)年8月「八百富神社」と改まったようです。ご神体は木造弁財天像(16.8cm)で、鎌倉時代末期の作品と見られ、市の指定文化財となっています。

竹島全島が八百富神社の神域で、そこには暖地特有の常緑樹(タブノキ、モチノキなど)を始め65科238種の植物が群落をなして島を覆い、繁茂しています。昭和5(1930)年8月に国の天然記念物に指定されています。島の周囲は、森が作る影やそこから流れ出る水によって、魚が棲みやすく繁殖しやすい環境になっています。また、海岸は崩れ落ちた岩による岩磯やきれいな砂浜になっていて、貝類や藻類を見ることができますし、四季を通して、飛び交ういろいろな鳥も見られます。



愛知県東三河自然観察会